



Upside Japan
THE TECH INSIDER www.upsidejapan.com

！ホーム！UPSIDEについて！UpsideToday米国版！

！コラム！ビジネスモデル！注目の企業！キーパーソン！業界動向！アジア最新ニュース！ITな暮らし！



注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトランスメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやってくる!
- ・ハイテク株よ、底の底まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれたB2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



Upside Japan / コラム

熱いビットに指を突っ込め 中村伊知哉@LANTIC【第17回】

2000年4月21日

日本のケータイは熱くて濃い!!

ジャパニーズのケータイをアメリカ人にみせびらかす日々です。日本はケータイの加入が**固定の電話を抜いた**って? 刺激的ね。それ以上に、ケータイのおかげで、日本のインターネット普及率がアメリカを2001年に抜くだろうって予測の方が刺激的。日本のインターネット普及率が低いからってアメリカはああせいこうせい言ってきたけど、これはちょっとギャフンよね、こんどは日本がああせいこうせい言って差し上げなくっちゃ。

でもそういう数字以上に、日本のケータイの**使い込み方は深く、濃い**。アメリカでこれが使えないのがやしいけど、ブツを見せてやれば熱いモノは伝わる。日本のインターネットはこれなのよ! メールは歩きながら走りながら右手の親指ブライントッチで送るものなのよ! アメリカはCATVやADSLで1.5Mbpsだっていうけど、日本は**モバイルで2メガ**の道を行くの! 1億人の走るメガ!

モバイル文化は子供が作ってます。ガングロがニッポン人女性として紫式部以来1000年ぶりに世界文化を引っ張ってます。iモードを作った**ドコモの松永真理さん**によれば、'79年のウォークマン、'89年のゲームボーイ、'99年のiモード、これを10年に一度のモバイル3兄弟と呼ぶんだそうです。モバイルはニッポンのお家芸だったのよ! 勢いあまって先週なんかMITに來られたドコモの立川社長にまでみせびらかしちゃった。

ケータイとデジカメがこのままいけば、5年後にはテレビ局の中継車の機能を個人が持ち歩くようになると思います。それは濃い**電波系の国ニッポン**がリードしていくべき分野でしょう。高速モバイルの技術を普及させるというのはもちろん、使いこなし方や表現手法の面で世界に範をたれたい。スタイル! 美しく、カッコよく。つながって、みんなが賢くなる。**フリーズせず**に。

固定の電話を抜いた: 2000年3月に各社が発表した数字によると、携帯電話とPHSを合計した移動体通信は5672万台を突破。一方、固定電話は2月時点で5593万台だったことから、移動体通信の台数が上回ったことが明らかになった。帳簿上、電話加入権は資産として計上されるため、実際には使わずに死蔵されている加入権も少なくないと予想されている。

使い込み方は深く、濃い: 西日本銀行が20歳代の男女435人を対象に調査した結果、携帯電話料金は平均で月額9230円に上がることがわかった。また、メールを利用しているのは男性で約3割、女性では半数に上ったという。

モバイルで2メガ: NTTドコモが2001年の商用化を予定する“W-CDMA”は、実証実験で2Mbpsによる動画伝送に成功している。ちなみに通常のテレビ放送(NTSC)は143Mbpsのバンド幅を必要とするが、ニュース番組など動きの少ない映像では、MPEG-2で2Mbps程度までに圧縮しても、視聴にたえる品質を得ることが可能。

ドコモの松永真理さん: リクルートで“とらば一ゆ”の統括編集長を務めた後、'97年7月にNTTドコモへ自身がとらば一ゆ。iモードの名付け親として知られる。現在は同社を退社し、女性向けサイト『イーウマン』の編集長へと再トラバーク。

電波系の国: 日本では“電波”を受信しちゃう人が多いけど、これが欧米だと“神の声”に変わる。どうやら神は、電波を使って下界の人間とコミュニケーションを取っているらしい。

デジタルビットがベットになった

デジタルが進化して、サイバー空間が重みを持ってきました。でも同時に、デジタルが現実空間に入り込む動きも目立ってきました。メディアラボのネグロポンテ教授、「アトム(現実)とビットが結合する!」 - 。これはアトムがビットに置き換えられていだけでなく、ビットがアトムに体现することでもあるんです。



ビットをグイと持て! デジタルをギュッと握れ! レゴのマインドストーム、ソニーのAIBO、ハスプロのファービー、これらが一斉に人気を博しているのは、テクノロジーの目新しさだけでなく、もっと根元的な方向を示しているのでしょう。ヒトは結局バーチャルでは満足しません。愛は、所有したりまさぐったりすることを求めるのです。ビットを抱け! 熱きデジタルの血潮を!

先日、**東京トイショー**にメディアラボの研究者6人と参加しました。ブース出して、オモチャのようなコンピュータのようなアートのような研究作品を展示したんです。こっちはこっちで日本の皆様に自信作をお見せしたつもりだけど、日本のオモチャもすごいね。展示に協力してくれたセガトイズのブースもそう、トミー、バンダイ、タカラ、などなど、どこもデジタルのロボット満載! 私とコミュニケーションしてくれるヤツ、遊んだりなごませたりしてくれるヤツ、そう、コンピュータとずっとともだちになりたかった私に、ペットの姿になって、やっときちんと答えてくれたんです。抱いたげる!

いまオモチャが面白い! 映画より、ゲームより、ウェブより、オモチャ! ディスプレーという四角い制約がないからか、イスに座って対峙するという制約がないからか、オモチャと呼ばれるあんな形こんな姿のコンピュータたちは、作り手の創造力のかたまりです。愛のクリエイティブイ!

デジタルのペットは、単純な機能の、立派な、気品ある、コンピュータ。それが私と語りあい、ペットどうしコミュニケーションし、ネットワークにもつながっていきます。

AIBO:日本ではなかなかお目にかかれないAIBO。それが、サンフランシスコの新名所“**METREON**”に行けば、デモ展示にお目にかかれる可能性大だ。ここはソニーの一大ショールームで、ソニーのAV製品やPSが展示販売されているほか、IMAXシアターも併設されている。自分の3Dホログラム映像をプリントアウトしてくれるサービスもオススメ。

東京トイショー:3月16日~19日に開催された“2000東京おもちゃショー”のこと。詳しくは[ASCII24のレポート記事](#)を参照されたい。中村氏らMITの研究者は、ブースで知られる(株)セガトイズのブースに研究作品を出展していた。

PCはバラバラになり、ヒトに優しくなる

マインドストームを開発したミッチェル・レズニック教授「アリはそれぞれ簡単な機能しか持っていない。それが、集まって、つながることで、高度で複雑な社会を築いている。コンピュータもそうなんじゃないの」 - -。

機能を統合してマルチメディアと称するようになったコンピュータは、またバラバラになります。キーボードは服に埋め込まれる。ディスプレイはメガネと同化する。クセのある単機能コンピュータが散らばっていく。家具や日用品はネットワークでつながる。埋める! つなげる! 空気のように周囲に溶け込む。デジタルが漲る。そうしてメディアは姿を消す。メディアはなくなるのよ! そしていつもコンピュータとネットワークに覆われて、リアルとバーチャルの混在する空間に生きるようになるのです。

バラバラにすることはそう難しいことではありません。小型化や軽量化はニッポンのお家芸なので。しかし、ウェアラブルや**ユビキタス**にとって大事なものは、コンピュータにヒトを理解させるということです。いつも私をサポートしてくれるためには、私の声、表情、視線、ジェスチャー、筋肉の収縮、心拍を読みとって、私の性癖、趣味、主義をくみとってくれなければなりません。

人工知能の権威、マービン・ミンスキー教授「1970年にMITのコンピュータがチェスのアマ上級者を破った。それから世界王者を破るまで30年近くかかった。その間コンピュータは1億倍も速くなった。だが、ほとんど賢くなつたらん!」

まだ時間がかかります。でもどうやらコンピュータは、気がつきはじめました。居丈高なPCは、まだ私の感情を理解することはできないけれど、ケータイやロボットに姿を変えたりして、私たちと一緒に生きていこうとする姿勢が見え始めました。幼児期から少年期にさしかかったようです。ちよっぴり自我を持って、面白いヤツになりたがっているようです。がんばれ!

ユビキタス:ubiquitous, “遍在する”“至る所に姿を現わす”という意味。IT業界では、あらゆる場所においてコンピューターの利用を可能にすることが重要なテーマの一つとなっており、家電とインターネットを接続する技術も、ユビキタスの実現には不可欠とされている。

中村伊知哉
プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』(アスキー出版局)などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ: <http://www.media.mit.edu/~ichiya/jpn.htm>

(C)Hajime Anzai

▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】 \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

(中村伊知哉)

‡ ASCII24 ‡ ASCII24 Business Center ‡ 日刊アスキー Linux ‡ アスキーデジタル用語辞典 ‡
‡ auto-ASCII24 ‡ Shes.net ‡ ASCII Job Serve. ‡ アスキートップ ‡

‡ [個人情報の取扱いについて](#) ‡ [編集部へのコンタクト\(info@upsidejapan.com\)](mailto:info@upsidejapan.com) ‡ [広告掲載のご案内](#) ‡

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.
All rights reserved.